

今年度の水位計増設予定

取組方針

水位計増設計画の策定・公表・設置・水位データ等の情報提供

具体的な取組内容

● 現 状（第2回協議会以降）

- 昨年7月の九州北部豪雨等を踏まえ全国で実施した「中小河川の緊急点検」の結果、67箇所の水位計が必要となった。
（第2回減災協議会で公表した「水位計増設計画：55箇所」を含む。）
- 国が新たに開発した「危機管理型水位計」も活用しながら、今後順次、整備していく方針。
- 河川課で水位計の設置候補箇所を選定し、(具体的な浸水箇所等を把握している)市町村に設置箇所の意見照会。



H30年度水位計設置箇所の決定
(別紙のとおり39箇所を予定)

● 今後の予定

- 今年度、水位周知河川(干田川の一部、等)に指定した河川については、出水期を目途に基準水位を設定し、「おかやま防災ポータル」に反映させ、住民の方などもインターネット等で閲覧できるようにする。
基準水位到達情報のメール配信希望者には、「おかやま防災情報メール」でもお知らせする。
- 水位計は可能な限り速やかに設置する。
- 新設した水位計も、インターネット等で水位情報を提供する。

H30年度 水位計設置予定箇所

No.	河川名	所在地	
		市町村名	大字・地先
1	(二) 笹ヶ瀬川	岡山市	北区栢谷
2	(二) 吉宗川	岡山市	北区菅野
3	(二) 砂川	総社市	久米
4	(二) 郷内川	倉敷市	林
5	(二) 妹尾川	岡山市	南区藤田
6	(二) 幸崎川	岡山市	東区南水門町
7	(二) 幸田川	岡山市	東区北幸田
8	(二) 江川	岡山市	東区君津
9	(二) 長谷川	玉野市	北方
10	(二) 庄田川	玉野市	八浜町
11	(二) 鴨川	玉野市	広岡
12	(二) 奥山川	瀬戸内市	邑久町
13	(二) 大谷川	備前市	麻宇那

No.	河川名	所在地	
		市町村名	大字・地先
14	(二) 石谷川	備前市	寒河
15	(二) 馬場川	備前市	伊部
16	(二) 新田川	備前市	浦伊部
17	(一) 初瀬川	和気町	福富
18	(二) 吉岡川	倉敷市	粒江
19	(二) 小田川	倉敷市	児島小川
20	(二) 砂川	倉敷市	広江
21	(二) 下村川	倉敷市	児島下の町
22	(二) 溜川	倉敷市	玉島
23	(二) 前川	総社市	窪木
24	(二) 吉田川	笠岡市	吉浜
25	(二) 大島川	笠岡市	西大島
26	(二) 用之江川	笠岡市	吉浜

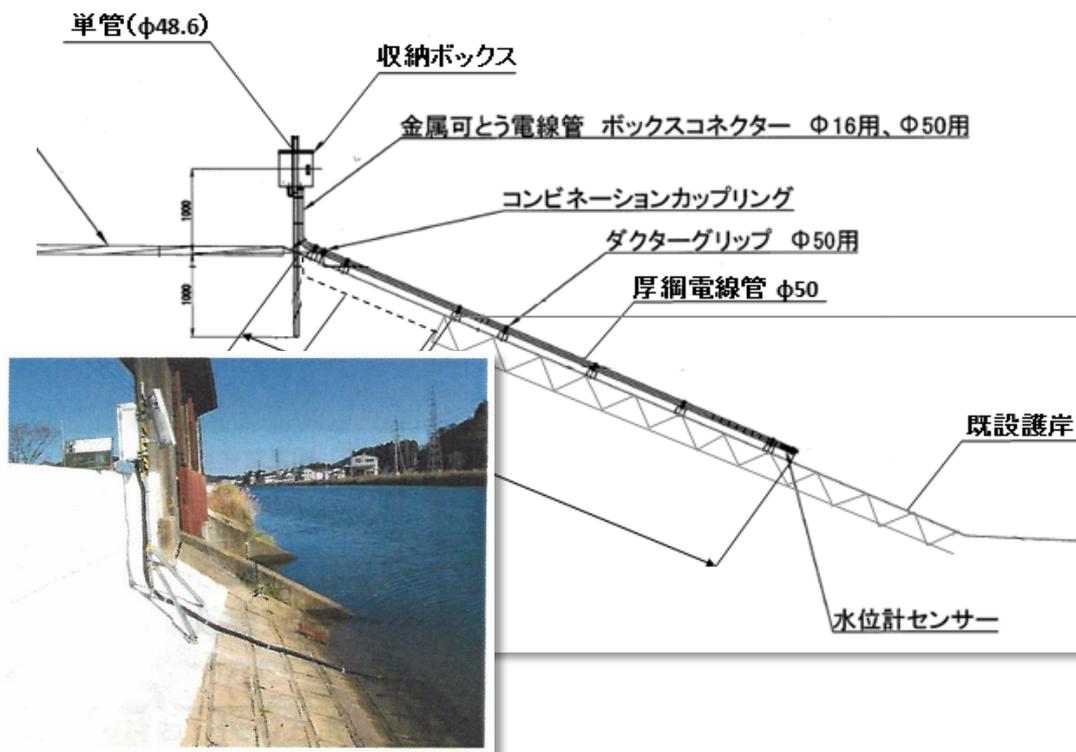
No.	河川名	所在地	
		市町村名	大字・地先
27	(二) 今立川	笠岡市	馬飼
28	(二) 里見川	浅口市	鴨方町六条院中
29	(二) 鴨方川	浅口市	鴨方町鴨方
30	(一) 後山川	美作市	後山
31	(一) 名義川	奈義町	奈義町豊沢
32	(一) 島木川	高梁市	成羽町成羽
33	(一) 吉野川	西粟倉村	影石
34	(一) 新庄川	新庄村	梨瀬橋
35	(一) 誕生寺川	久米南町	上二ヶ
36	(一) 千田川	瀬戸内市	邑久町福中
37	(一) 山家川	美作市	土居
38	(一) 香々美川	鏡野町	竹田
39	(一) 高屋川	井原市	高屋町

注) 一部箇所においては、市町村が内部調整中のため、設置箇所が変更になる場合があります。

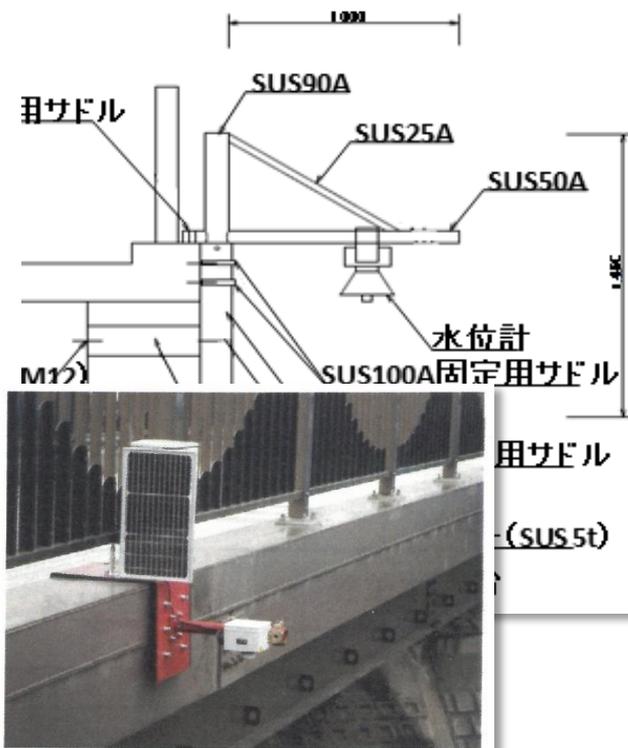
危機管理型水位計

- 主な特徴
- 長期間メンテナンスフリー（無給電で5年以上稼働 … 岡山県は太陽光電池仕様）
 - 省スペース（小型化 … 橋梁等へ容易に設置が可能）
 - 初期コストの低減（機器の小型化や電池及び通信機器等の技術開発によるコスト低減）

【接触型（水圧式）】



【非接触型（超音波式）】



注：本参考図・設置写真は、あくまでも設置イメージである。

危機管理型水位計運用協議会※の紹介

運用協議会のリーフレット（抜粋）

避難勧告等の発令や住民の避難に役立つ水位情報を提供できます

● 初期費用

危機管理型水位計 100万円以下/台※

▶ 電池等で5年間稼働,
メンテナンスフリー

※機器本体のみ。取付け用付属物や設置費用を除く



● ランニングコスト

- ・ 通信費 (SIM)
 - ・ システム運営費
- 月々950円～
/台

危機管理型水位計運用協議会
が運営新たなIoT技術を活用し、
安価で使いやすい
システムを開発危機管理型
水位計洪水時に
観測開始

設定水位

SIM

クラウド

危機管理型水位計
運用システムインターネットで
提供

ユーザ

- 河川管理者
- 住民・市町村等
- マスコミ

そろそろ
〇〇地区が
浸水しそうだ！近くの川の
水位は…

伊勢市の声

(平成30年度に危機管理型水位計を設置予定)

伊勢市では平成29年10月の台風21号による甚大な浸水被害を受け、河川水位の情報発信を強化するため、平成30年3月19日に設立された危機管理型水位計運用協議会へ参加し、危機管理型水位計を活用した取組みを進めています。

協議会参加により水位計の調達や、システムの構築等の様々な技術的な援助を受け、危機管理型水位計の設置と運用による避難体制の確立を進め、市民の安全な暮らしにつなげていきたいと考えています。

※ 水位計のデータを処理、配信、表示するシステムを共同で運用するために設立した協議会で53団体(国11機関・31道府県・11市町／H30. 3. 19現在)が参画。

- ◆ 市町村が独自に水位計を増設しクラウドシステムを使用することも可能です。
- ◆ 詳細な情報が必要な場合は、県減災協議会事務局にお問い合わせください。